

アフターサービス推進室活動報告書. Vol. 17

## 保育士・保育所支援センターの取組事例に関する調査

---

— 保育士人材の確保を目指して —

平成 27 年 2 月

厚生労働省アフターサービス推進室

## 目次

<b>I 調査結果報告</b> .....	1
1 調査目的.....	1
2 調査対象.....	1
3 調査結果概要.....	3
(1) 待機児童の推移と保育所数、利用率の推移.....	3
(2) 保育士の現況と求人・求職の状況.....	4
(3) 調査自治体における保育所及び保育士の状況.....	6
(4) 保育士・保育所支援センターの設置・運営.....	8
(5) 調査対象の個別報告書まとめ.....	9
(6) 「保育士・保育所支援センター」事業における（再）就職者、研修等参加者のご意見.....	21
4 本調査に関するアフターサービス推進室の提案.....	24
5 最後に.....	27
<b>II 個別報告書</b> .....	27
1 ちば保育士・保育所支援センター.....	28
2 東京都保育人材・保育所支援センター.....	32
3 富山県保育士・保育所支援センター.....	36
4 滋賀県保育士・保育所支援センター.....	40
5 広島県保育士人材バンク.....	44
6 香川県保育士人材バンク.....	48
7 福岡県保育士・保育所支援センター.....	52
8 大阪市保育士・保育所支援センター（梅田センター・阿倍野センター）.....	56
9 堺市保育部保育運営課無料職業紹介所.....	60
10 福岡市保育士・保育所支援センター.....	64
11 久留米市保育士・保育所支援センター.....	68
<b>III アフターサービス推進室 過去の活動報告</b> .....	71

## I 調査結果報告

厚生労働省の制度・事業の改善に資するよう「国民の皆様の声」、現場視察、制度・事業に関する情報収集を基に以下の件について調査・分析し、とりまとめましたので、以下に報告します。

案 件 名	調 査 概 要
保育士・保育所支援センターの 取組事例に関わる調査 － 保育士人材の確保を目指して －	本調査は、保育を希望するすべての国民が利用できる環境になることを目的として、待機児童解消に伴い必要となる保育士確保の取組を行う「保育士・保育所支援センター事業」の活動内容を調査したものである。

### 1 調査目的

厚生労働省の「国民の皆様の声」には「認可保育所を増やしてほしい」「早期に保育所を増やし、待機児童をゼロにしてほしい」という待機児童解消への要望、「保育士がやりがいを感じながら働けるように給与等処遇の改善を希望する」という保育士の就業環境への改善など様々なご指摘が寄せられている。

国は、「待機児童解消加速化プラン」により保育の量の拡大を図る中、このために必要となる保育を支える人材を確保するため、「人材育成」「就業継続支援」「再就職支援」「働く職場の環境改善」に重点をおいた取組を進めているが、この「待機児童解消加速化プラン」の確実な実施に向け、平成 27 年 1 月に「保育士確保プラン」を策定し、保育士確保のための新たな取組を進めることとしている。

本調査は、保育士確保の取組の一つである「再就職支援」を牽引する「保育士・保育所支援センター」の保育士就労支援に関する取組を調査し、保育人材確保を推進している地方自治体の取組を紹介し、国民の皆様及び関係者に今後の参考としていただくことを目的としている。

### 2 調査対象

調査対象とした「保育士・保育所支援センター」は以下 11 センター<sup>1</sup>とした。

<sup>1</sup> 本報告書では「保育士・保育所支援センター事業」を運営している組織の総称として「センター」に統一して使用する。

調査対象「保育士・保育所支援センター」一覧表

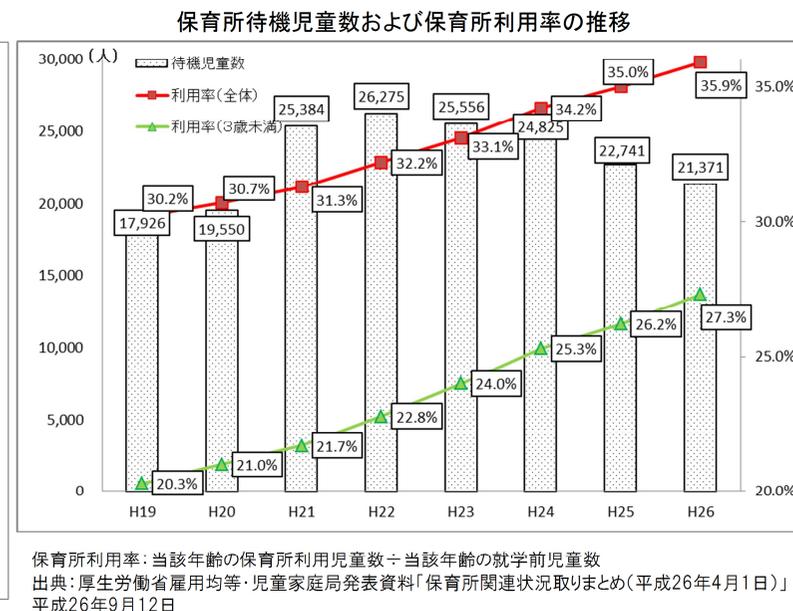
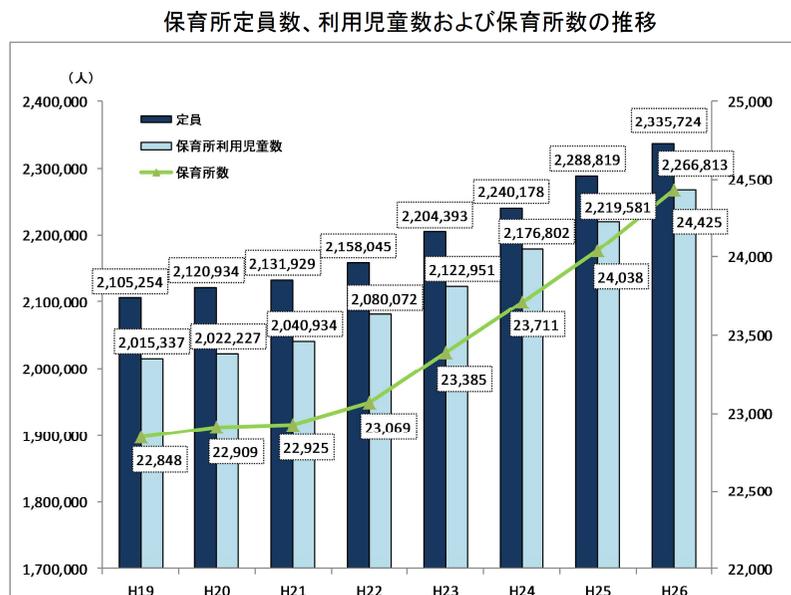
	名 称 ( ) 内は運営団体 (委託先)	所 在 地	開設年月日	ヒアリング実施日
1	ちば保育士・保育所支援センター (社会福祉法人千葉県社会福祉協議会)	〒260-0015 千葉県千葉市中央区富士見2-3-1 塚本大千葉ビル6階 ☎ 043-222-2668	平成25年8月6日	平成26年9月5日
2	東京都保育人材・保育所支援センター (社会福祉法人東京都社会福祉協議会)	〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-10-3 東京しごとセンター7階 ☎ 03-5211-2860	平成21年9月15日	平成26年9月8日
3	富山県保育士・保育所支援センター (社会福祉法人富山県社会福祉協議会)	〒930-00945 富山県富山市安住町5-21 富山総合福祉会館 ☎ 076-432-6532	平成25年6月3日	平成26年9月16日
4	滋賀県保育士・保育所支援センター (一般社団法人滋賀県保育協議会)	〒520-0044 滋賀県大津市京町4-3-28 厚生会館1階 ☎ 077-525-5203	平成25年4月1日	平成26年9月29日
5	広島県保育士人材バンク (広島県健康福祉局働く女性応援プロジェクト・チーム)	〒730-8511 広島県広島市中区基町10-52 広島県健康福祉局働く女性応援プロジェクト・チーム ☎ 082-227-3090	平成24年7月19日	平成26年10月15日
6	香川県保育士人材バンク (社会福祉法人香川県社会福祉協議会)	〒760-0017 香川県高松市番町1-10-35 香川県社会福祉総合センター4階 ☎ 087-833-0250	平成25年8月1日	平成26年10月3日
7	福岡県保育士就職支援センター (公益社団法人福岡県保育協会)	〒816-0804 福岡県春日市原町3-1-7 福岡県総合福祉センター内 ☎ 092-582-7955	平成25年7月1日	平成26年10月21日
8	大阪市保育士・保育所支援センター (梅田センター・阿倍野センター) (株式会社ニッソーネット)	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田1-4-14 芝田町ビル2階(梅田センター) ☎ 0120-977-555	平成25年10月30日	平成26年10月8日

9	堺市保育部保育運営課無料職業紹介所 (堺市子ども青少年局保育部保育運営課)	〒590-0078 大阪府堺市堺区南瓦町3-1 堺市子ども青少年局保育部保育運営課内 ☎ 072-228-0194	平成25年10月1日	平成26年10月7日
10	福岡市保育士・保育所支援センター (福岡市子ども未来局子育て支援部保育所指導課)	〒810-8620 福岡県福岡市中央区天神1-8-1 福岡市子ども未来局子育て支援部保育所指導課内 ☎ 092-711-6808	平成25年4月1日	平成26年10月20日
11	久留米市保育士・保育所支援センター (久留米市子ども未来部児童保育課)	〒830-8520 福岡県久留米市城南町15-3 久留米市子ども未来部児童保育課内 ☎ 0942-30-7234	平成25年4月1日	平成26年10月21日

### 3 調査結果概要

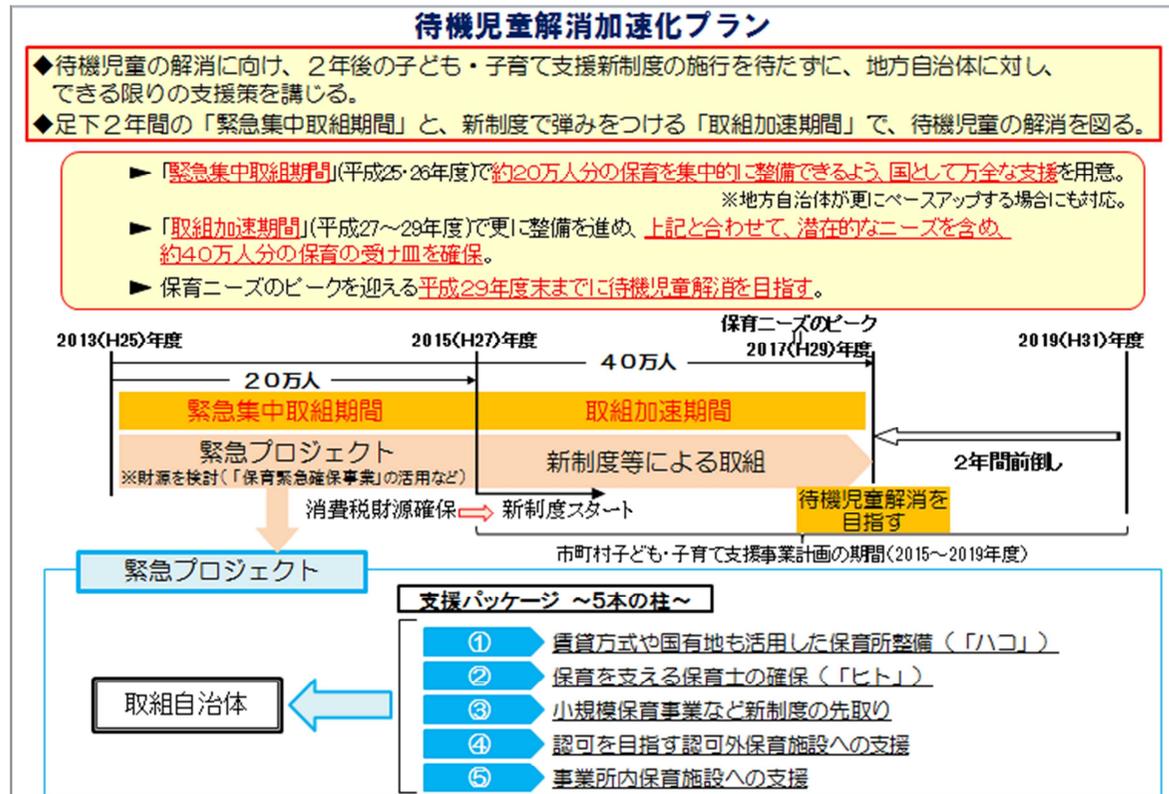
#### (1) 待機児童の推移と保育所数、利用率の推移

保育所<sup>2</sup>入所待機児童とは「入所申込が提出されており、入所要件に該当しているが、入所していない」状態にある児童を指す。保育所数は大幅な増設が進められ、利用児童数も増加している。



<sup>2</sup> 日々保護者の委託を受けて、保育に欠けるその乳児または幼児を保育する施設。

「待機児童解消加速化プラン」において、平成 25 年度～平成 29 年度にかけて約 40 万人分の保育の受け皿を確保し、平成 29 年度末の待機児童解消を目指している。保育士人材の確保に向けて、「待機児童解消加速化プラン」では支援パッケージの中に「保育を支える保育士の確保（ヒト）」を掲げ、保育士の就労・育成の取組を進めている。この「待機児童解消加速化プラン」を確実に実施するため、平成 27 年 1 月に「保育士確保プラン」を策定し、保育士確保のための新たな取組を進めることとしている（平成 29 年度末までに国全体として新たに確保が必要となる保育士数は 6.9 万人）。具体的には、保育士試験の年 2 回実施の推進や保育士に対する処遇改善の実施、「保育士・保育所支援センター」における離職保育士に対する再就職支援の強化などの新たな施策を講じるほか、従来の保育士資格取得支援などの確保施策についても引き続き実施し、保育士の確保に向けて全力で取り組んでいくこととしている。



出典：厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課

## (2) 保育士の現況と求人・求職の状況

保育士不足の理由の一つには保育士資格を有していながら就業していないいわゆる「潜在保育士」がいる<sup>3</sup>ことが挙げられる。

<sup>3</sup> 保育士資格保有求職者（32,478人）のうち保育士として就業することを希望する者（16,737人）が約半数（51.5%）というデータがある。（厚生労働省職業安定局「主な人手不足職種に関するハローワーク求職者の免許・資格の保有状況」労働市場分析レポート第3号（平成25年3月29日）

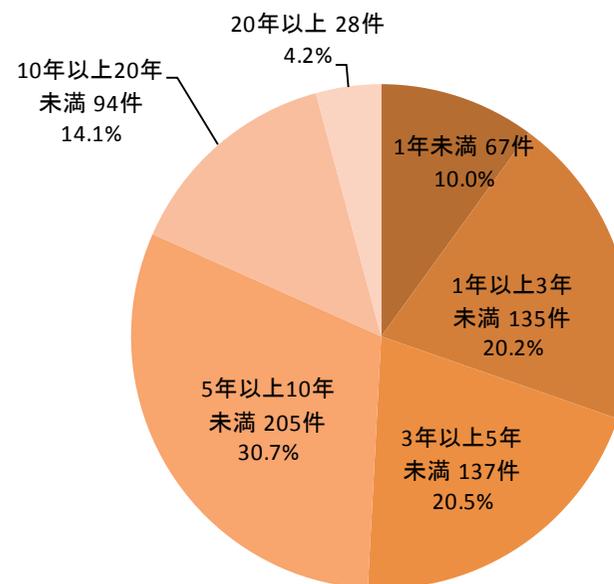
保育士への就業を希望しない理由として、「賃金が希望と合わない<sup>4</sup>」「休暇が少ない・取りにくい」「就業時間が希望と合わない」という勤務条件、「責任の重さ・事故への不安」「自身の健康・体力への不安」「ブランクがあることへの不安」という不安感がある。これら勤務条件の調整と職務への不安感は潜在保育士が就職あるいは復職へ踏み出せない要因となっている。保育士として勤務経験がある離職者を対象とした調査では、離職までの年数が3年未満 30%、3年以上5年未満 21%と離職者の約半数が5年未満で離職しており、早期離職の傾向が強い。

【保育士への就業を希望しない理由(複数回答可)】

順位	項目	件数	割合
1	賃金が希望と合わない	455件	47.5%
2	他職種への興味	413件	43.1%
3	責任の重さ・事故への不安	383件	40.0%
4	自身の健康・体力への不安	375件	39.1%
5	休暇が少ない・休暇がとりにくい	354件	37.0%
6	就業時間が希望と合わない	254件	26.5%
7	ブランクがあることへの不安	239件	24.9%
8	業務に対する社会的評価が低い	214件	22.3%
9	保護者との関係がむずかしい	188件	19.6%
10	その他	181件	18.9%
11	子育てとの両立がむずかしい	143件	14.9%
12	雇用形態(社員・パートなど)が希望と合わない	96件	10.0%
13	仕事の内容が合わない	88件	9.2%
14	将来への展望が見えない	82件	8.6%
15	教育・研修体制への不満	56件	5.8%
16	有期雇用契約が更新されるか不安	16件	4.8%

出典：厚生労働省職業安定局(平成25年5月実施)  
 「保育士資格を有しながら保育士としての就業を希望しない求職者に対する意識調査」  
 調査方法：待機児童が50名以上存在する市及び特別区を管轄する19労働局80安定所において2,033名の対象者を無作為抽出し、アンケートを実施  
 (厚生労働省政策統括官付政策評価官室アフターサービス推進室において表一部修正)

【保育士としての勤務年数】

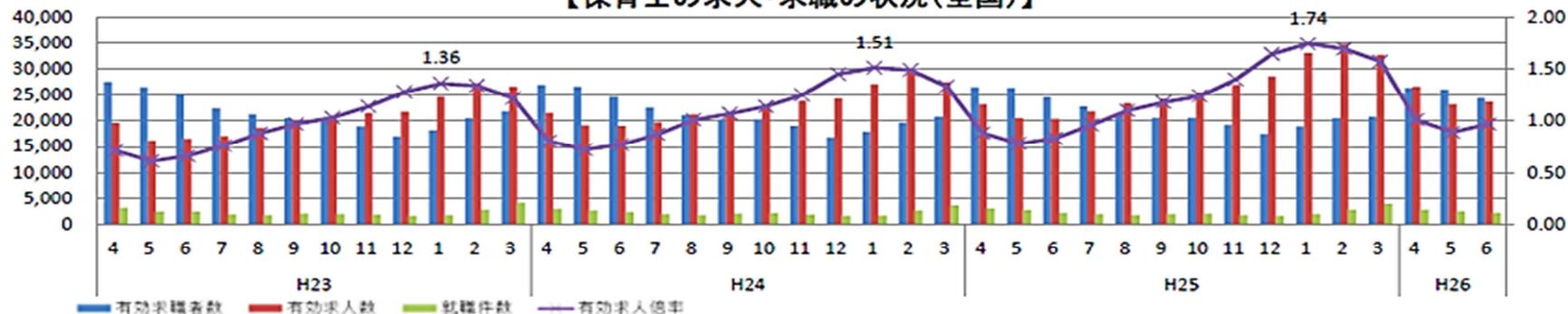


出典：厚生労働省職業安定局(平成25年5月実施)  
 「保育士資格を有しながら保育士としての就業を希望しない求職者に対する意識調査」  
 調査対象：保育士としての勤務経験がある668件を対象として調査

<sup>4</sup> 保育士の平均賃金(きまって支給する現金給与額)は213.2千円(月額)。きまって支給する現金給与額…所定の支給条件、算出方法によって支給される現金給与額。手取額でなく見込額。現金給与額には基本給、職務手当、精皆勤手当、家族手当、時間外勤務、休日出勤等超過労働給与等も含まれる。(資料出所：厚生労働省「平成25年賃金構造基本統計調査」)

## 全国の状況

### 【保育士の求人・求職の状況(全国)】



## 都道府県別県の状況

### 【平成25年度の保育士の新規求人倍率(都道府県別)】



出典：厚生労働省「保育人材確保のための『魅力ある職場づくり』に向けて」平成26年8月

保育士の有効求人倍率は例年1月が最も高い（平成26年1月：全国平均で1.74倍）。通常保育士の採用活動は9月以降に始まり、冬が本格的な就職活動期となる。有効求人数は2月をピークに減少し、平成26年4月には有効求職者数とほぼ同数になっている。平成25年度の都道府県別新規求人倍率は東京の4.63が最も高く、山梨の0.86が最も低い。今回の調査対象である都府県においては、滋賀県の3.36が全国で2番目に高く、ほかの地域はいずれも1倍を超えている。

### (3) 調査自治体における保育所及び保育士の状況

調査対象の自治体における保育所数及び保育士数の状況を次ページの表に示した。常勤の占める割合は73～91%、パートタイム勤務を含む非常勤は9～27%の割合である。

常勤専従保育士の採用数から退職者数をひいた勤務者の割合は保育士総数の3～6%である。香川県は保育士総数における常勤の割合が最も高く、非常勤が最も少ない。

【平成24年 保育所数・保育士数（総数・常勤・非常勤）・常勤専従保育士数（採用数・退職者）】

自治体名	保育所数	保 育 士（人）					常勤専従保育士（人）		
		総数	常勤	専従	兼務	非常勤	採用数 (A)	退職者数 (B)	(A)－(B)
千葉県	563	9,562	7,586(79%)	7,396(77%)	190(2%)	1,976(21%)	1,259	680	579(6%)
東京都	1,864	39,752	30,436(77%)	30,177(76%)	259(0%)	9,316(23%)	4,108	2,544	1,564(4%)
富山県	218	2,981	2,511(84%)	2,441(82%)	70(2%)	470(16%)	294	204	90(3%)
滋賀県	210	4,479	3,338(75%)	3,203(72%)	135(3%)	1,141(25%)	589	339	250(6%)
広島県	319	4,124	3,241(79%)	3,130(76%)	111(3%)	883(21%)	406	254	152(4%)
香川県	133	2,104	1,917(91%)	1,892(90%)	25(1%)	187(9%)	265	188	77(4%)
福岡県	487	7,988	6,564(82%)	6,416(80%)	148(2%)	1,424(18%)	1,159	787	372(5%)
大阪市	390	7,103	5,777(81%)	5,662(80%)	115(2%)	1,326(19%)	798	736	62(0%)
堺市	104	2,541	1,854(73%)	1,772(70%)	82(3%)	687(27%)	395	253	142(6%)
福岡市	185	4,437	3,452(78%)	3,358(76%)	94(2%)	985(22%)	659	496	163(4%)
久留米市	75	1,466	1,154(79%)	1,113(76%)	41(3%)	312(21%)	307	216	91(6%)

資料：厚生労働省大臣官房統計情報部「平成24年社会福祉施設等調査」より厚生労働省政策統括官付政策評価官室アフターサービス推進室作成

注1) 都道府県には政令指定都市・中核市の数値は含まない

注2) 「常勤」とは、施設・事業所が定めた常勤の従事者が勤務するべき時間数のすべてを勤務している者

注3) 「非常勤」とは、常勤以外の勤務者（ほかの施設にも勤務するなど収入及び時間的拘束を伴う仕事を持っている者、短時間のパートタイマー等）

注4) 「常勤保育士数」とは、常勤専従及び常勤兼務をあわせた人数（換算数ではない）

#### (4) 保育士・保育所支援センターの設置・運営

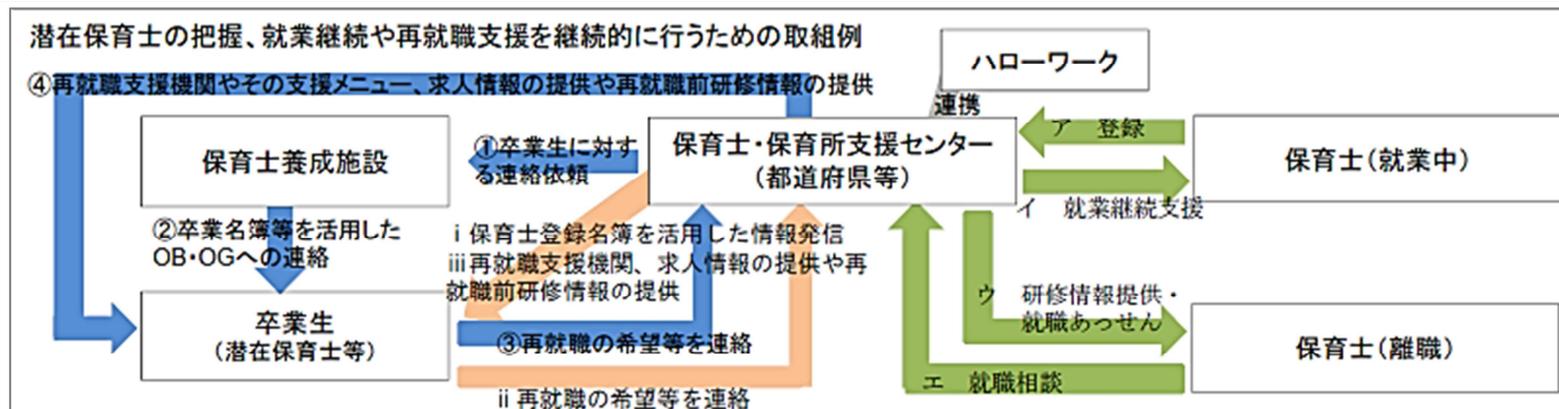
「待機児童解消加速化プラン」の支援パッケージのひとつである保育士確保施策として「保育士・保育所支援センター」が設置・運営されている。「保育士・保育所支援センター」は、潜在保育士の就職、保育所の潜在保育士活用支援等を行うことを目的としており、支援の対象は、潜在保育士、現職保育士、保育士資格の取得を希望する者、保育所等である。

「保育士・保育所支援センター」を設置した自治体は、市または県の直営によるか、社会福祉協議会または保育関係団体、民間の人材会社等に委託運営している。運営に当たっては、ハローワーク、保育士養成施設等、関係機関と緊密に連携をしながら取組を進め、きめ細かな支援を図ることが推奨される。

保育士の確保を図るに当たって、「保育士・保育所支援センター」は極めて重要な役割を果たしていると考えられることから、本調査においては、「保育士・保育所支援センター」を調査対象としたものである（2ページの一覧表参照）。

#### 【保育士・保育所支援センターの主な業務内容】

- ・ 潜在保育士: 再就職に関する相談・就職あっせん、潜在保育士の掘り起こし(保育士登録名簿を活用した情報発信等)
- ・ 保育所: 潜在保育士の活用方法(シフト、求人条件、マッチング等)に関する助言
- ・ 保育士: 保育所で働く保育士や保育士資格取得を希望する者からの相談対応(職場体験など)
- ・ 人材バンク機能等の活用: 保育所への就職・離職時等に保育士・保育所支援センターに登録し、  
ア) 就職継続のための支援、イ) 離職後の再就職のための支援(求人情報、研修情報の提供)等を  
継続的に行うことのできる仕組みを構築



出典: 厚生労働省雇用均等・児童家庭局 職業安定局「保育を支える保育士の確保に向けた総合的取組」平成25年10月

(5) 調査対象の個別報告書まとめ

調査対象の 11 センターの概要は以下のとおりである。個別報告書の構成に基づき、以下の 3 点に集約して下表に示した。

- ア センター運営事業の実績（保育士の累計採用者数・うち潜在保育士数）
- イ センターの取組概要、特徴・工夫点及びマッチング方法
- ウ 各センターの課題

ア センター運営事業の実績（保育士の累計採用者数・うち潜在保育士数）

区 分		保育士の 累計採用者数	うち 潜在保育士数
1	ちば保育士・保育所支援センター	平成 25 年度～	10 人
		平成 26 年度(～9 月)	44 人
		合 計	54 人
2	東京都保育人材・保育所支援センター	平成 25 年度	144 人
		平成 26 年度(～9 月)	16 人
		合 計	160 人
3	富山県保育士・保育所支援センター	平成 25 年度	87 人
		平成 26 年度(～9 月)	17 人
		合 計	104 人
4	滋賀県保育士・保育所支援センター	平成 25 年度	36 人
		平成 26 年度(～8 月)	10 人
		合 計	46 人

5	広島県保育士人材バンク	平成 25 年度	1 0 3 人	—
		平成 26 年度(～ 5 月)	3 6 人	—
		合 計	1 3 9 人	—
6	香川県保育士人材バンク	平成 25 年度	2 3 人	2 2 人
		平成 26 年度(～ 9 月)	1 4 人	1 4 人
		合 計	3 7 人	3 6 人
7	福岡県保育士就職支援センター	平成 25 年度	4 3 人	2 2 人
		平成 26 年度(～ 9 月)	1 2 人	9 人
		合 計	5 5 人	3 1 人
8	大阪市保育士・保育所支援センター (梅田センター・阿倍野センター)	平成 25 年度	1 0 9 人	8 0 人
		平成 26 年度(～ 8 月)	7 6 人	6 2 人
		合 計	1 8 5 人	1 4 2 人
9	堺市保育部保育運営課 無料職業紹介所	平成 25 年度	2 0 人	1 0 人
		平成 26 年度(～ 9 月)	5 人	4 人
		合 計	2 5 人	1 4 人
10	福岡市保育士・保育所支援センター	平成 25 年度	2 4 6 人	—
		平成 26 年度(～10 月)	7 2 人	—
		合 計	3 1 8 人	—
11	久留米市保育士・保育所支援センター	平成 26 年度(～12 月)	1 人	1 人

【注】「—」は、潜在保育士について把握していないもの。

イ センターの取組概要、特徴・工夫点及びマッチング方法

名 称	取組概要、特徴・工夫点及びマッチング方法
<p>1 ちば保育士・保育所 支援センター</p>	<p><b>【取組概要】</b>            ①求人求職登録、②求人情報の提供、③相談業務、④マッチング、⑤『保育士人材バンク』の運営、⑥研修の企画・実施、⑦保育所施設見学会、⑧職員による外部イベント等への参加、⑨ハローワーク主催の面接会・説明会へのブース出展、⑩ノベルティグッズの作成等。</p> <p><b>【特徴・工夫点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 『保育士人材バンク』における事業者支援の一環として行う「アプローチサービス機能」：求人事業所側が求職者情報を閲覧し、条件に合った求職者へ向けて就労の意向を打診できるサービス。センターのコーディネーターを介して行われる。</li> <li>◦ スマートフォン用のアクセス項目を設定しているほか、コーディネーター通信をメール配信し、Facebook やLINE 公式アカウントにてセンターの情報を積極的に配信している。</li> </ul> <p><b>【マッチング方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ オンライン機能を持つ『保育士人材バンク』が稼働しており、登録された「求人情報」「求職者情報」を広範囲に検索できる。Web サイトからのオンライン登録を基本としているがセンター窓口での登録も対応している。</li> <li>◦ 取扱い職種は保育士・保健師・看護師・栄養士・調理師。</li> <li>◦ 再就職支援コーディネーターに保育士の有資格者を配置。</li> </ul>
<p>2 東京都保育人材・ 保育所支援センター</p>	<p><b>【取組概要】</b>            ①求人求職登録、②求人情報の提供、③相談業務、④マッチング、⑤保育士就職支援研修会、⑥就職相談会、⑦保育士就職支援セミナー、⑧保育事業者セミナー、⑨保育実習研修、⑩保育所職場体験（高校生対象）等。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 研修会と相談会は行政と共催、保育士就職支援セミナーは委託運営の上、都内各所で実施</li> </ul>

		<p>している。</p> <p><b>【特徴・工夫点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 保育士就職支援セミナーは保育士としての専門知識や保護者対応、応急手当など保育現場で役立つプログラム構成になっている。潜在保育士から復職した保育士の体験談がある。</li> <li>◦ 保育事業者セミナー（平成26年10月実施分）は雇用管理の改善を目的とした採用と定着に関する取組を講話した。東京労働局、都内ハローワーク、東京都との共催。</li> <li>◦ 保育士就職支援研修と就職相談会（平成26年度実施分）はセンター、東京都、開催地区行政との共催により都内6地域で開催した。地域性に特化し、潜在保育士の掘り起こしとして有効な対策となっている。</li> </ul> <p><b>【マッチング方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 窓口での求職登録者を対象としている。求職者には、求人情報を紹介し、勤務時間や雇用形態等を調整、希望者には紹介状を発行し、求職者から直接申し込む。</li> <li>◦ 取扱い職種は施設長（所長）・保育士・看護師・栄養士・調理師・事務員。</li> <li>◦ コーディネーターに保育士、幼稚園教諭、産業カウンセラーの有資格者を配置。</li> <li>◦ 求人求職情報は『福祉のお仕事』（注）を活用している。</li> </ul> <p>（注）『福祉のお仕事』は全国社会福祉協議会が運営する福祉人材センター及び人材バンクに関する福祉分野の求人検索サイト。求人求職登録を『福祉のお仕事』のシステムと連携して運用している「保育士・保育所支援センター」がある。</p>
3	富山県保育士・保育所支援センター	<p><b>【取組概要】</b></p> <p>①求人求職登録、②求人情報の提供、③相談業務、④マッチング、⑤職場見学・体験の調整手配、⑥保育職場説明会、⑦再就職支援研修の企画・実施、⑧学生への就職支援（求人票の送付）等。</p> <p><b>【特徴・工夫点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 保育関係団体（富山県民間保育連盟、富山県保育連絡協議会）とはセンターの運営主体で</li> </ul>

		<p>ある富山県社会福祉協議会が協力関係を構築し連携体制にある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 就業の定着と能力の育成を目的とした再就職支援研修を実施している。内容は「ストレスマネジメント」や「労働法規」の講座、グループ討論によるコミュニケーションの向上、講演等。</li> </ul> <p><b>【マッチング方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 求職者には来所による登録を促し、求職相談を実施。</li> <li>◦ 取扱い職種は保育士・看護師・栄養士・調理師。</li> <li>◦ コーディネーターには、保育士資格と幼稚園教諭2種免許保有の人材を配置。</li> <li>◦ 求職者の希望する就業開始時期、就業条件に基づきコーディネーターが通勤可能な保育所をピックアップし、求人状況と内容をきめ細かく確認する。</li> <li>◦ 求人求職登録は『福祉のお仕事』を活用している。</li> </ul>
4	滋賀県保育士・保育所支援センター	<p><b>【取組概要】</b></p> <p>①求人求職登録、②求人情報の提供、③相談業務、④マッチング、⑤「保育人材バンク事業」の運営、⑥再就職支援研修会、⑦出張登録相談会、⑧就職説明会（就職フェア）、⑨就業継続支援研修会、⑩保育士支援相談員による相談窓口の開設、⑪情報誌の発行等。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 出張登録・相談会として県内各地の市民センターやマザーズジョブステーションにおいて登録者を募るなど広範に求職者の意向を把握している。</li> </ul> <p><b>【特徴・工夫点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 一般社団法人滋賀県保育協議会（センター運営受託先）は県内の276認可保育所が加入しており、保育現場と連携したセンター事業の運営が可能。</li> <li>◦ 保育士支援相談員の配置による専用電話（ホットライン）の相談業務。</li> <li>◦ 就業継続支援研修会は、就業中の保育士対象の研修（フォローアップセミナー）及び保育士採用人材担当者対象の研修（労務管理者研修）を実施している。</li> </ul> <p><b>【マッチング方法】</b></p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 「保育人材バンク事業」は来所、電話、メールでの受付者を対象としている。</li> <li>◦ 取扱い職種は保育士・保健師・看護師・栄養士・調理師。</li> <li>◦ 求人保育所と求職者の双方がセンターに登録し、求職者へ希望に沿った求人案件が紹介されるシステム。登録期間は3年（自動更新なし）。</li> </ul>
5	<p style="text-align: center;"><b>広島県保育士人材 バンク</b></p>	<p><b>【取組概要】</b></p> <p>①求人求職登録、②求人情報の提供、③相談業務、④マッチング、⑤『広島県保育士人材バンク』の運営、⑥保育士就職支援セミナー、⑦就職相談会の実施等。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 相談業務は「しごとプラザ マザーズひろしま」に設置されている「マザーズハローワーク 広島」等と連携している。</li> <li>◦ 広島県保育連盟連合会に保育士就職支援セミナー、就職説明会、実技研修を委託運営している。就職説明会は取組内容の見直しを行い、平成26年度の参加者は前年度の3倍となった。</li> </ul> <p><b>【特徴・工夫点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 実技研修は実習先を選択する（要相談）ことが可能であり、参加は有給である。</li> <li>◦ ハローワークとの差別化を図る取組として、求職者ひとりに対し一件の求人を紹介し、採否の結果を待って次を紹介している。</li> <li>◦ 就職説明会で配布した参加保育所の紹介冊子『参加保育所 保育園の紹介・施設の紹介一覧』では求職者への情報公開が進んでいる。</li> </ul> <p><b>【マッチング方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 求人求職登録は『広島県無料職業紹介所 広島県保育士人材バンク』のホームページまたは人材バンクへの来所で手続きする。</li> <li>◦ 取扱い職種は保育士・看護師・保健師・栄養士。</li> <li>◦ 保育士就業支援員は保育士有資格者を配置。</li> <li>◦ 求職者登録の通知を受け取ると、保育士就業支援員が求人登録を照会の上、双方に連絡し、条件のすり合わせを行い、面接日を調整する。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>採用・不採用の決定通知（連絡）期間を設け、保育所から求職者へ可能な限り期限内（臨時雇用：3～4日、正規雇用：1～2週間）に連絡することを依頼している。</li> </ul>
6	香川県保育士人材バンク	<p><b>【取組概要】</b></p> <p>①求人求職登録、②求人情報の提供、③相談業務、④マッチング、⑤『香川県保育士ガイド』による広報、⑥潜在保育士復職支援研修会、⑦香川県主催の保育士就職相談会への参加等。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>潜在保育士復職支援研修は配慮が必要な子どもの保育や連絡帳の書き方等実践的な講習内容。</li> </ul> <p><b>【特徴・工夫点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Web『香川県保育士ガイド』による人材バンクの広報：「かがわ潜在保育士支援事務局」（県委託事業）、香川県と連携し、各保育所の情報・求人情報を届けるメルマガサービス、Facebook、Twitter などによる県内の保育所の紹介、現職保育士の声を YouTube で届けるサービス、研修会ミニセミナーの案内等を情報発信している。</li> </ul> <p><b>【マッチング方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>求人求職登録は窓口と『香川県保育士ガイド』の登録ページで受け付けている。</li> <li>取扱い職種は保育士・看護師・事務員。</li> <li>コーディネーターは保育士と幼稚園教諭の有資格者で保育所勤務経験者を配置。</li> <li>求職登録者には就業希望時期に応じ頻繁に連絡を入れる。希望条件と合致する新規求人情報が入ると、電話にて案内周知した後、メールまたは郵送で詳細を送付している。</li> <li>『香川県保育士ガイド』は『福祉のお仕事』に掲載している求人求職情報と連動している。</li> </ul>
7	福岡県保育士就職支援センター	<p><b>【取組概要】</b></p> <p>①求人求職登録、②求人情報の提供、③相談業務、④マッチング、⑤就職相談会、⑦保育士養成施設在学学生への就業支援等。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>就職相談会は定例実施と臨時実施がある。定例実施はセンターでの受付と電話対応、臨時実施は県内のハローワークにおいて出張相談会を実施している。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ センターを運営している福岡県保育協会が行う体験実習研修は、定期実施（日時限定）と随時実施（日程希望可）を設定し、希望者の利便性を考慮している。</li> </ul> <p><b>【特徴・工夫点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ マッチングにおけるコーディネーターの相談対応と勤務条件の調整。</li> <li>◦ 求職登録者の増加を目的とした他機関との連携として、社会福祉協議会主催の職場説明会における相談窓口設置やハローワークにおける出張相談会などを推進している。</li> </ul> <p><b>【マッチング方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 求人求職登録はセンターで受け付けている。求人情報は保育協会のホームページに掲載されており、求職者が閲覧し、センターが仲介し紹介する。</li> <li>◦ 取扱い職種は保育士。</li> <li>◦ コーディネーターには、保育所所長経験者を配置している。</li> <li>◦ 採用された求職者には、適宜、コーディネーターが就職先に出向き、直接近況を聞くフォローアップを実施している。</li> </ul>
8	<p>大阪市保育士・保育所 支援センター (梅田センター・ 阿倍野センター)</p>	<p><b>【取組概要】</b></p> <p>①求人求職登録、②求人情報の提供、③相談業務、④マッチング、⑤保育所就職フェア、⑥保育士有資格者対象研修、⑦保育所中堅職員対象研修、⑧保育所実習等。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 「株式会社ニッソーネット」が大阪市から受託の上運営している。</li> <li>◦ 求職登録を2ヶ所のセンターで受け付けている。平日は（依頼に応じて）最長19時まで対応可能、土日も窓口を開設。</li> </ul> <p><b>【特徴・工夫点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 年度毎の目標採用者数の設定。数字による見える化で目標達成に向けた具体的な進捗状況等を知ることができる。目標が未達成であれば委託料が減額され、目標値を大幅に上回ればインセンティブを加算するという条件で委託契約を交わしている。</li> <li>◦ 保育所就職フェアでは事前に予約した来場者には保育関連書籍の無償配布を行い来場の動</li> </ul>

		<p>機付けに取り組んでいる。</p> <p><b>【マッチング方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 求職登録はセンターの来所による受付。</li> <li>◦ 取扱い職種は保育士。</li> <li>◦ コーディネーターは保育士有資格者と保育士就職の専門コーディネーター経験者を配置。</li> <li>◦ コーディネーターが求職・求人者双方のニーズを十分に踏まえて、勤務条件の調整を実施。</li> <li>◦ 求職者が就労後にギャップを抱かないよう、可能な限り施設の事前見学を勧奨し、求職者の希望に応じて、センター職員が施設見学に同行している。</li> <li>◦ 電話と相談による就業後のフォローアップを実施している。</li> </ul>
9	堺市保育部保育運営課 無料職業紹介所	<p><b>【取組概要】</b></p> <p>①求人求職登録、②求人情報の提供、③相談業務、④マッチング、⑤市内民間保育所の求人情報の収集、⑥求職者相談会、⑦潜在保育士対象研修、⑧広報周知の実施等。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 求職者相談会（市役所庁舎内）は毎週火・木曜日（13時～17時）、出張相談会（「さかいJOBステーション」）は毎月第2金曜日（13時～17時）に実施。いずれも事前予約制。</li> </ul> <p><b>【特徴・工夫点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ コーディネーター自身の経験に基づいた親身での確かなアドバイスによる相談業務とマッチングは、求職者が抱く育児との両立に対する不安やビジネスマナーとしての言葉遣い、身だしなみに対する助言まで対応している。</li> <li>◦ 市の広報誌、地域の無料情報誌、折込チラシに事業内容や出張就職相談会実施を告知する広報周知。</li> </ul> <p><b>【マッチング方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 求職求人登録はセンターで受け付けている。</li> <li>◦ 取扱い職種は保育士・看護師・栄養士・調理員。</li> <li>◦ コーディネーターは保育士有資格者（市内公立保育所元職員）を配置。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ コーディネーターは、求職者から通勤経路や希望する保育担当年齢等、希望就業条件について、きめ細かく聴取することを心がけ、施設見学の勧奨も行っている。</li> </ul>
10	福岡市保育士・保育所支援センター	<p><b>【取組概要】</b></p> <p>①求人求職登録、②求人情報の提供、③相談業務、④マッチング、④求人者（事業所）への助言指導、⑤保育士就職支援研修会、⑥保育所見学、⑦保育所実習等。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 市内の区役所6ヶ所において各区子育て支援課と連携しセンターを臨時開設している。</li> <li>◦ 相談業務は4人の職員が持ち回りで電話相談と来庁者に対応しており、専門的知識が求められる場合は必要に応じて労働局への相談を紹介している。</li> </ul> <p><b>【特徴・工夫点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 求職者と求人者との細やかなニーズ調整。コーディネーターが作成した市内の保育所分布図を用いて、求職者の通勤圏内を考慮しながら希望条件に合った保育所を探している。</li> <li>◦ 一般社団法人福岡市保育協会と連携体制を築いており、必要に応じて協力を要請し、求人票の記入法、賃金の設定等について改善案を提案している。保育士就職支援研修会を連携して開催している。</li> </ul> <p><b>【マッチング方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 求職登録はセンターで受け付けている。</li> <li>◦ 取扱い職種は保育士。</li> <li>◦ 保育士有資格者の職員とコーディネーター（保育士就職相談員）を配置。</li> <li>◦ 求職者と1時間ほどの面談で勤務条件、通勤時間、当番勤務可否等を聞き取り調整を図る。</li> <li>◦ 遠方者や来所が難しい求職者には電話、メール、郵送で対応している。</li> <li>◦ 登録に来所したものの就職への意欲がそれほど強くない求職者、ブランクや経験不足等への不安が大きい求職者に対しては「保育士就職支援研修会」への参加を勧奨し、就職への意欲を適時間い合わせるなど、フォローアップを含めた幅広い支援を行っている。</li> </ul>

11	久留米市保育士・ 保育所支援センター	<p><b>【取組概要】</b></p> <p>① 求人求職登録、②求人情報の提供、③相談業務、④マッチング、⑤保育士就職支援セミナー等。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内認可保育所の求人情報は市のホームページで公表されている。</li> </ul> <p><b>【特徴・工夫点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育士就職支援セミナーは保育士有資格者及び資格取得予定者を対象としている。内容は保育所の現状、保育士の経験談等。市内の認可保育所の見学申込を受け付けている。</li> <li>子ども未来部児童保育課(センター運営先)が担当する保育士対象研修はセンター業務を補完する講座研修である。</li> </ul> <p><b>【マッチング方法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>求人求職登録は窓口または郵送やFAXで受け付けている。</li> <li>取扱い職種は保育士。</li> </ul>
----	-----------------------	--

**【取組概要について】**

- すべてのセンターで「就職支援（求人求職登録/求人情報の提供）」と「相談業務（潜在保育士/現職保育士/各保育所）」が実施されている。
- すべてのセンターで「窓口対応」による求人求職登録を受け付けている。
- 求人求職登録は窓口対応のほか、Webで受付をする5センター（千葉県、東京都、富山県、広島県、香川県）がある。
- 広報周知に関する取組としては「ノベルティグッズの配布」（千葉県）「情報誌の発行」（千葉県、滋賀県）「求人情報誌への掲載」（堺市）などがある。

**【特徴・工夫点について】**

- 研修、セミナー、就職相談会の実施に特徴を持つのは6センター（東京都、富山県、滋賀県、広島県、大阪市、久留米市）である。
- コーディネーターまたは保育士支援相談員の役割が特徴となっているのは4センター（滋賀県、福岡県、堺市、福岡市）である。
- 他機関との連携が特徴となっている4センター（富山県、滋賀県、福岡県、福岡市）は、主に保育関係団体との協力関係による。
- 求職者が有給で保育所の実技研修に参加する（広島県）、年度毎の目標採用者数の設定（大阪市）は調査対象における独自の取組である。
- 広報周知に関する特徴的な取組はWebによる情報発信（千葉県、香川県）または地域の無料情報誌等にセンター事業を告知する（堺市）などがある。

**【マッチング方法について】**

- 保育士有資格者のコーディネーター（保育士就業支援員、保育士就職相談員）が配置されているのは9センター（千葉県、東京都、富山県、広島県、香川県、福岡県、大阪市、堺市、福岡市）である。

- ・コーディネーター（保育士就業支援員・保育士就職相談員）の役割は保育士など保育所勤務の経験に基づく保育人材の勤務形態に対する理解と親身な相談対応にある。

## ウ 各センターの課題

名 称		課 題
1	ちば保育士・保育所支援センター	① 潜在保育士の掘り起こし ② 県内各地域における求人内容の偏在
2	東京都保育人材・保育所支援センター	① 潜在保育士の掘り起こし（潜在保育士の把握） ② センター認知度の向上 ③ 関係機関との連携 ④ 求職者のニーズに沿った丁寧な（長期的な）相談支援
3	富山県保育士・保育所支援センター	① 求職者と求人者の希望勤務条件の違い ② ブランクのある求職者の再就職 ③ 人材の育成、定着に対する保育所側の意識改革
4	滋賀県保育士・保育所支援センター	① ダイレクトメールの発送（広報周知）に関する保育士登録情報の未活用
5	広島県保育士人材バンク	① 求職者、求人者へのセンター周知方法
6	香川県保育士人材バンク	① 広報周知の不足による人材バンクの知名度不足 ② 求人登録の確保と求人ニーズの集約
7	福岡県保育士就職支援センター	① 求職登録件数の少なさによる求人登録情報の滞留 ② 県内でのセンター利用状況の地域間格差 ③ 保育士養成施設に向けた事業協力や施策の設定

8	大阪市保育士・保育所支援センター (梅田センター・阿倍野センター)	① 登録者の地域偏在 ② 50代以上の就業率改善 ③ 実習を有効に使ったマッチング率の向上
9	堺市保育部保育運営課 無料職業紹介所	① 広報周知に対する潜在保育士の応答の少なさ ② 近隣の関係機関との連携体制
10	福岡市保育士・保育所支援センター	① センターの支援対象である潜在保育士の掘り起こし ② 保育士の処遇に関連した保育所の採用状況に対する取組
11	久留米市保育士・保育所支援センター	① センターの周知不足

【課題について】

- ・ 「潜在保育士の掘り起こし」(千葉県、東京都、福岡市)「広報周知の向上」(東京都、滋賀県、広島県、香川県、堺市、久留米市)等、センター業務の周知強化が挙げられている。
- ・ 「利用状況及び登録者の地域格差」(千葉県、福岡県、大阪市)は求人情報と求職者情報の都市部集中に要因があると思われる。
- ・ 「他機関との協力関係の構築」を課題に挙げているセンター(堺市)がある。

(6) 「保育士・保育所支援センター」事業における(再)就職者、研修等参加者のご意見

本項では「保育士・保育所支援センター」事業を利用して保育現場へ再就職した方、同事業を利用して再就職者を雇用した保育所事業者の方、相談業務を利用した方、研修等に参加した方のご意見を以下に紹介する。

属性	利用者の方の声
再就職をした方	県外の幼稚園で2年、保育園で2年働きました。富山での仕事は初めてでしたが、支援センターの開設を知り、「ここに行けばなんとかなる」と思いました。支援センターでは条件に見合った保育園の情報を得ることができ、見学もさせてもらいました。仕事を探すのであれば、いろんなどころを見るといいですね。見学に気軽に応じてもらえますし、自分に合った園との出会いがきっとあると思います。(富山県)

	<p>復職後の勤務先は「保育士の就職相談会」に参加して知りました。幼稚園児の子どもがいるので、家から近く、送迎に便利だったことが一番の理由です。毎日の生活に「はり」が出たので、復職して良かったと思います。私の場合は、10年近く現場を離れていました。もう一度、保育士として働くことに不安もありましたが、やっぱり保育士の仕事はステキだなと改めて感じています。（香川県）</p> <p>自分に子どもができて、沢山の子どもと触れ合うことで子育てを学べると思っていた時に、高松の広報で【香川県保育士人材バンク】を知りました。保育士に復職したいという気持ちがあったので登録し、タイミングよくこの保育園を紹介していただき現場復職することになりました。毎日癒やされて働くことができ、家での笑顔も増えました。（香川県）</p> <p>販売職に携わっていたのですが、店舗の閉店がきっかけで転職を考えていたところ、保育士の資格を持っていたので周囲の方からも勧められました。ただ、約17年のブランクがあったので、長期的に続けられるのか、年齢的に体力や、職場の雰囲気、仕事内容など全般的に不安に感じていました。保育の仕事に戻れたことはすごく良かったと思っています。この担当さんだからこそ復職できたと思っています。毎日、いろんな子どもたちの成長が見られることが楽しいです。潜在保育士の方は、保育のお仕事に携わりたいという気持ちがあれば、一度チャレンジしてみて、自身の目で現場を見てほしいと思います。自分自身に合っている園を探すことがすごく大事ななと感じています。（大阪市）</p> <p>卒業後、一般企業への道を選んだので、保育士として就職するまでは5年空きました。今までは大人相手に仕事をしてきたのが、子ども相手の仕事になったので、言葉づかいやうまく通じるのかなということが一番不安でした。また、子どもに対しての危機管理についても不安はありました。ですが、想像していたよりも楽しく働いています。子どもたちは、毎日違って、短時間でも変化がわかります。昨日はできなかったことが、今日はできるようになったりと、小さい変化が見えることにやりがいを感じます。潜在保育士から復職を目指す方は、私も同じでしたが、未知の世界に入るので、絶対に不安だし躊躇してしまうと思います。一步踏み出したら、後悔はしない仕事だと思います。（大阪市）</p>
<p>再就職前後に実習等を受講した方</p>	<p>子育て中のため、不安な気持ちがあり、仕事と家庭の両立に迷いましたが、おかげさまで実習を通して自信がつき復職できました。（東京都）</p>
<p>センターを利用した保育所所長</p>	<p>せっかく資格を取っても、保育士にならなかった方、結婚や出産など生活環境が変わって辞められた方、そういう方たちの中で、もう一度やってみようという方がいるとすごくうれしいし、助かります。（富山県）</p>
<p>就職支援セミナー受講者の方 (東京都)</p>	<p>約30年のブランクの後、パートで保育士の仕事をしたいと考え相談会・セミナーを受講した。現在の保育をとりまく社会状況や実情を知ることができ、今後仕事をする上で大変勉強になった。私のような潜在保育士はいるはず、その力を活用して未来ある子どもを育てるためにもこのようなセミナーは重要と考える。現在自身も就活中。</p>

	<p>再就職に当たって非常に有用なものであり、実習の機会も得られたことは有難かった。就職活動の際に、ハローワークで持っている情報と共有されていると、仕事探しがよりスムーズにできたかと思うが、支援の仕方（求職者に対する対応など）はハローワークよりも良い印象で相談しやすく、気軽に足を運べた。</p>
<p>相談業務を利用した方 (堺市)</p>	<p>とても話しやすく、自分の思っている事など伝えることができた。</p> <p>今までの保育の経験を活かせるような職場で子ども達に関わりたい。</p> <p>とても親切に話をして下さり、ホッとした。楽しい時間をありがとう。</p> <p>初めて来所したが、明日面接の話をいただき大変感謝している。ひとりで職を探すのは不安もあったのでとてもありがたい。</p> <p>年齢を重ねているのでなかなか見つかりにくいと思っていたが、自分も子育ての経験を活かして調理の仕事に頑張れる望みがもてそうで嬉しかった。</p>
<p>保育士支援研修会 参加者の方 (福岡市)</p>	<p>前回に参加した時と同様、大変参考になった。現在、保育士資格を取得したばかりで登録申請中だが前回に参加した見学が勉強になったので今回も希望する予定だ。</p> <p>求人票が多く出ており、研修内容も楽しくわかりやすい会だった。求職に関する不安が楽になった。</p> <p>不安材料が少なくなった。前向きに就活したい、仲介していただけるのが心強い。</p> <p>不安な気持ちで来たが、研修中、何度も「やってみて下さい」と言われて、少し自信が出た。</p> <p>空白があり、どういう内容か知りたくて参加した。</p> <p>現場の先生方と話す機会をいただけて、大変ありがたかった。不安なことが多い中嬉しかった。</p> <p>とても有意義な時間だった。やはり保育士として働きたいと改めて思った。</p> <p>細かい内容で大変役立った。連絡帳の書き方は改めて勉強になった。</p> <p>保育士資格を持っていても現場経験に空白のある方が多く、支援が素晴らしいと思った。</p> <p>連絡帳の記入など実際の保育に役立つ情報ありがたい。</p> <p>託児があったので、参加できた。仕事を先に決めるか、保育所を先に決めるか難しい。</p>

#### 4 本調査に関するアフターサービス推進室の提案

本調査に関する当室の提案を以下のとおりまとめた。本調査対象のセンターだけではなく、各機関との連携により推進される対策もあり、関係機関におけるセンター事業内容の共通理解が求められる。「待機児童解消加速化プラン」の中でも柱の一つとなっている保育人材確保の有望な事業が、各機関との協力関係により着実に促進されるため、センター関係者のみならず保育人材確保に関わるすべての関係者の方々に参考にしていただければ幸いである。

##### (1) 【潜在保育士の掘り起こしに関する提案】

センター事業の利用案内に関して、調査の過程で「潜在保育士及び現職保育士の把握が難しいため、情報発信の対象者の居所がわからない」という声が多く聞かれた。要因の一つに保育士登録者の現住所及びこの保育士登録者が就労できる状況にあるのか否かの把握がされていないため、潜在保育士の割り出しができないという問題がある。その対策として、「保育士確保プラン」において新たな取組として掲げている「保育士・保育所支援センターにおける離職保育士に対する再就職支援の強化」の積極的な取組を提案する。これは、保育所を離職した保育士に対し、「保育士・保育所支援センター」に対する登録を促進し、再就職希望の状況を随時把握し、再就職に向けた研修案内・求人案内などの情報提供等、再就職に向けたきめ細やかな支援を行うと共に、シンポジウムの開催や集客力の高い施設での出張相談会の実施など、普及啓発を通じた「保育士・保育所支援センター」の利用促進を図るものである。

また、本調査の対象ではないが、一部の「保育士・保育所支援センター」においては都道府県の協力の下、保育士登録簿<sup>5</sup>に登録されている保育士に対しアンケート調査を実施するなど、保育士登録簿を活用した潜在保育士の掘り起こしを行っており、ほかの「保育士・保育所支援センター」においても積極的に取り組まれるよう提案したい。

##### (2) 【関係機関と連携した Web の活用に関する提案】

センター業務を広く情報提供するために Web の活用を提案する。センターの広報周知を Web で行う環境設定によって、多くの求職者に対する情報発信が可能になる（自治体ホームページ等の活用）。センターの広報及び求人求職登録機能に Web 利用を実施しているセンターでは、幅広い年齢層に向けてセンターを周知する手段となっている。センターを利用するきつ

<sup>5</sup> 保育士有資格者が保育士として働くに当たって、氏名、生年月日など厚生労働省で定めた事項を都道府県知事に登録申請した名簿。児童福祉法の一部改正により、平成 15 年 11 月 29 日から保育士業務を行う者は都道府県知事に登録し保育士証の交付を受けることが必要となった。

けとして Web が活用されることで、保育士有資格者の掘り起こしにつなげることを目的とする。

### (3) 【人材の育成と定着に関する提案】

センターにおける保育士就労支援研修の実施を提案する。研修は、ア 保育士（再）就職前研修<sup>6</sup>、イ 就業継続支援研修とする。

#### ア 保育士（再）就職前研修

「連絡ノートの書き方」「配慮の必要な児童への接し方」「救急手当」など（再）就職に際して対象者が最も知りたいと感じている内容と「保護者への対応」「行事の準備などによる持ち帰り作業の軽減法」「事務作業の効率化」などの実務作業に関する内容などが想定される。研修を実施しているセンターの求職者または受講者からは「保護者への連絡ノートを書くのが難しいので子どもの見方、書き方などを知りたい」「連絡帳の記入などで実際の保育に役立つ情報はありがたい」「保育所に就職前にセミナーを受講し、手遊びを取り入れたり、子どもと接する上での注意を活かすことができたのでよかった」などの声があった。研修は（再）就職に対する不安を解消して求職活動に対する垣根を低くする効果があると期待される。

#### イ 就業継続支援研修

##### (7) 園長（保育所によっては理事長を対象）、主任など管理者を対象とした研修

本研修は、保育士の就労環境整備の一策と位置づけ、園長（保育所によっては理事長を対象）、主任など管理者を対象とした“人材育成”の観点から行うことを目的とする。調査の過程で「良い雰囲気（コミュニケーションが円滑な職場環境）の保育所は働きやすく、長く勤務する保育士が多い（保育士が辞めない）」という意見があった。それにも関わらず、保育士の離職理由に「職場の人間関係」を要因とする<sup>7</sup>ものがあり、さらに求職活動においても「説明会や見学会に参加すると保育士の立場に対する配慮を感じられない管理者の説明方法などに落胆する」などの声がある。業務上の指導に加え、管理者が保育士と意見を共有し、精神的にサポートする意識を持つことで職場環境の充実が図られると想定される。保育従事者が自由に意見交換をし、コミュニケーションが自然に図られるような職場環境及び保育環境の形成によって、就業を継続する保育士が増加すると考える。

<sup>6</sup> 名称に（再）と付したのは保育士資格取得後、保育士として就労しなかった対象者を含むため。

<sup>7</sup> 「保育士の再就職支援に関する報告書」平成 23 年 12 月（平成 23 年度厚生労働省委託事業）によると「職場環境の悩み」の全 13 項目中、4 番目に高い割合（22.5%）となっている。

#### (1) 現職保育士を対象とした研修

本研修は、勤務1～3年の新人保育士を対象とし、保育士・保育所支援センターによる長期的な支援や離職防止の観点から行うことを目的とする。一例として就職前の期待とギャップへの対応方法、新人保育士にとって負荷の大きい業務（保護者対応等）に関する講座研修、業務内容の情報交換を通じた悩みや不安感、やりがいの共有など継続的に就業する動機付けを目的としたグループワークの実施などが想定される。新人保育士をサポートする取組として実施されることを期待する。

#### (4) 【雇用管理助成制度の利用案内に関する提案】

保育所事業者に向けた雇用管理に関する助成制度の積極的な広報周知を提案する。具体的には、保育士を含む保育所職員の仕事と家庭生活の両立支援に取り組む事業主（保育所を運営する法人または企業）に対する助成制度の案内周知である。助成制度の一例として、①中小企業両立支援助成金（代替要員確保コース：育児休業取得者の代替要員を確保し、育児休業取得者を原職等に復帰させた事業主に一定金額を助成する制度）、②キャリアアップ助成金（短時間正社員コース<sup>8</sup>：短時間正社員制度を規定し、(a)雇用する労働者を短時間正社員に転換した場合、または(b)短時間正社員を新規で雇い入れた場合に一定金額を助成する制度）などがある。

#### (参考 URL)

① ⇒ <http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/0000059704.pdf>

② ⇒ <http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11650000-Shokugyouanteikyokuhakenyukiroudoutaisakubu/0000043425.pdf>

保育士有資格者が就業していない理由とした不安要素のうち「家庭との両立」が最も高い割合を示した<sup>9</sup>。保育士を含む保育所職員に関する短時間勤務利用や産休・育休の取得の法制度を保育所事業者に対して周知し、雇用管理助成制度の活用を促すことで、ひとりでも多くの保育士が継続的な就業が可能になる環境整備が進められることを目的とする。

<sup>8</sup> 平成27年4月以降は「多様な正社員コース」に改称予定。

<sup>9</sup> 「保育士の再就職支援に関する報告書」平成23年12月（平成23年度厚生労働省委託事業）によると就職に不安がある対象者のうち、不安要素（個人の状況）として「家庭の両立」（48.6%）、次いで「自身の健康・体力」（45.4%）だった。（選択肢6項目・複数回答可）

保育所において、雇用管理助成制度を活用し、保育士が短時間正社員として勤務できるようにするなど、保育士の多様な働き方を促進するための取組を進めることが保育士確保につながることから、「保育士・保育所支援センター」においては、保育所に対し、助言等を積極的に行うことで、保育士の再就職につなげていくことが求められる。

## 5 最後に

本調査においてご協力いただいた地方自治体及び各センターの関係者の皆様方に改めて御礼を申し上げますと共に、待機児童解消の有効な対策として保育士・保育所支援センター事業が運営されることを念願する。また、保育に携わるすべての方々の熱意によって保育環境の整備が進められている現状で、保育の重責を担う保育士人材がひとりでも多く働きやすい環境に出会う（または就労の機会を得る）ための一助となれば幸いである。

## II 個別報告書

「保育士・保育所支援センター」事業を実施する 11 自治体を対象として書面及びヒアリングによる訪問調査を行い、11 の個別報告書をまとめた。